

公益社団法人
東大和市 シルバー人材センター広報誌

け や き

〒 207-0015 東大和市中央3-912-3

電話 042-565-0531 FAX 042-566-2308 <https://www.silver-center.org/>



バンクシー



鳳凰/阿修羅像



スマホスタンド



看板

桜が丘C班 松堂政勝さんの作品

目次

◆ 就業相談日 日程表	◆ センターの今後の予定	◆ 会員紹介制度のご案内	◆ 私のふるさと	◆ 会員の作品紹介	◆ 会員寄稿③	◆ 市内のモニユメント訪問②	◆ 会員寄稿②	◆ 市内のモニユメント訪問①	◆ 会員寄稿①	◆ 委員会報告
8	8	7	6	5	5	4	4	3	3	2

正会員数
(9月1日現在)

男性	452名
女性	168名
合計	620名

総務委員会

委員長 峯 信夫

6月の定時総会后、令和3年度の委員改選を機に7月8日に総務委員会をシルバー人材センター2階会議室にて開催し、立石会長より総務委員会委員5名に委嘱状が交付されました。

(一)令和3年度総務委員会体制

- ・ 退任した委員
 - 委員 吉田 俊英 (会員)
 - 委員 福田 功 (会員)
- ・ 退会された委員1名 (会員)

・ 就任した委員

- 委員長 峯 信夫 (理事)
- 副委員長 窪田 進 (理事)
- 委員 村林 應 (会員・新任)
- 委員 西永 宣昭 (会員・新任)
- 委員 曾根 宮子 (会員・新任)
- 総務委員会から選出の安全管理委員 窪田 進

(二)委員会活動の現状報告

・ 初めて参加する委員もいるので、令和3年度総務委員会活動計画、総務委員会運営規則等を説明しました。
・ 今年度の「会員交流会」については、すでに周知したとおり新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とし、その他の事業につきましても、感染拡大状況を踏まえ検討していくこととしました。

事業委員会

委員長 田中 雅城

令和3年度の二回目の事業委員会が立石会長参加の下、7月7日(水)に開催されました。

(一)令和3年度事業委員会体制

定時総会後の役員改選に伴う新体制となり、冒頭に立石会長より委員全員に個別に委嘱状が交付されました。

- ・ 退任した委員
 - 委員長 小林 正和 (理事)
- ・ 就任した委員
 - 委員長 田中 雅城 (理事)
 - 副委員長 北谷 直道 (会員)
 - 委員 小林 巳喜雄 (理事)
 - 委員 村林 恵子 (会員)
 - 委員 大澤 文雄 (会員・新任)
 - 委員 小林 巳喜雄

(二)主な事業内容

・ 毎月の事業委員会をはじめ、就業相談、新入会員研修会、接遇研修会、事業報告会、顧客企業表敬訪問、近隣センター視察研修がありましたが、コロナ禍による緊急事態宣言の度重なる発令により、全ての活動が休止状態となつています。
・ 今後はコロナ禍の収束状況を見ながら活動していくこととなりますが、ネットやメディア媒体を活用した方法についても模索していきます。

広報委員会

委員長 遠藤 孝

(一)令和3年度広報委員会体制

・ 就任した委員

- 委員長 遠藤 孝 (理事)
- 副委員長 柴田 隆嗣 (会員)
- 委員 福田 一彦 (理事)
- 委員 綿貫 一成 (理事)
- 委員 島田 耐子 (会員)
- 委員 井口 一男 (会員)
- 広報委員会から選出の安全管理委員 福田 一彦 (理事)
- ・ 退任された委員はおりません。
- ・ 委員会一同新たな気持ちで活動してまいります。

(二)委員会活動の現状報告

・ コロナ感染症のめどが立たない中での活動に苦慮しておりますが、委員一同頑張つて参ります。

(三)主な事業内容

- ①「けやき138」9号の発行
- ②福祉祭への参加
- ③道路美化清掃
- ④その他広報活動
- ・ 「けやき」138号は10月に発行しました。

・ 今回のリモート福祉祭では、集まった物品を社会福祉協議会に寄付します。詳細は後日募集案内でお知らせ致します。
③④についてはコロナの終息状況を見ながら検討いたします。

安全管理委員会

委員長 中原 拓三

(一)令和3年度安全管理委員会体制

・ 就任した委員

- 委員長 中原 拓三 (理事・副会長)
- 副委員長 福田 一彦 (理事)
- 委員 窪田 進 (理事)
- 委員 小林 巳喜雄 (理事)
- 委員 尾又 一夫 (会員・新任)
- 委員 小安 秀雄 (会員)
- 委員 松本 芳久 (会員)
- 委員 横川 たまえ (会員)
- 委員 高橋 功司 (会員)
- 委員 熊谷 肇 (会員)
- 委員 磯山 重男 (会員・新任)
- 委員 松本 正典 (会員)
- ・ 退任された委員はおりません。

(二)委員会活動の現状報告

①「安全だより」第42号発行
②令和3年度健康検診受診調査実施なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止による緊急事態宣言下であり、年間活動計画がほとんど実施出来ない状態です。

(三)安全管理委員会主管の主な事業

- ①熱中症予防講習会…7月中止決定
 - ②応急救護訓練
 - ③自転車安全利用講習会
 - ④転倒予防講習会
 - ⑤安全就業パトロール
- 現在のコロナ感染症対応の動向が不明確であり、今後の推移と近隣のシルバー人材センターの活動状況を勘案して実施可否の検討を行います。

会員寄稿

桜が丘A班 西永 宣昭
私の好きなウルトラマラソン
〜東尋坊愛のマラニック〜

私が走ったウルトラマラソンの中で楽しかった大会を紹介します。毎年5月下旬に開催される福井県の「東尋坊愛のマラニック」(「マラニック」とは、ピクニック気分?でマラソンを走る造語)です。

福井県坂井市三国町・東尋坊から勝山市・平泉寺を往復する103Kmのウルトラマラソンで300人ほどが参加します。平泉寺宿坊に宿泊という魅力がある52Kmのコースもありますが、こちらは女性に人気です。

さて、「東尋坊」と言えば日本海の荒波が砕け散る断崖絶壁。「東尋坊」の名前の由来に諸説ありますが、その中の一つの伝説は、平泉寺の東尋坊と恋に落ちた美しい「あや姫」との間をねたんだ真柄覚念という僧の企てにより崖から突き落とされたという説です。「東尋坊愛のマラニック」は、そうした三人の若者の悲恋の舞台となった東尋坊と平泉寺をたどり、愛の岬・東尋坊の夕陽に向かって走る大会です。

スタートは、東尋坊の崖の上!色とりどりの風船を「愛してるヨ〜!」と叫びながら飛ばしてスタートします。

コースは、福井・丸岡城、平泉寺の苔むす急坂、永平寺前のえちぜん勝山線と並走、九頭竜川河川敷、刈り取りが始まった六条大麥の畑の道を走ります。

この大会の名物はエイド(催し物)の振る舞いです。そうめん、若狭牛ステーキ食べ放題、木の葉寿司、ニンニクラーメン、ごま豆腐ぜんざい、小籠包・焼売、手打ちそば、イチゴ・メロン等々。全食完食・完走がランナーの礼儀なので、普通の人はレース後、体重が増えています。

ゴールも、東尋坊の崖の上!マリンバ演奏に迎えられる、1日中たつぷり痛めたわが体を愛おしながら愛の鐘をついて「愛してるヨ〜!」と叫んでハート形の完走メダルをいただきます。・どこまでも愛、愛、愛。

来年は、コロナが収束して再び愛を叫びに福井で走れることを夢見ています。



市内のモニュメント訪問

高木の獅子舞

・場所…高木神社
・設置日…平成4年1月30日

高木の獅子舞いは江戸時代より、毎年九月十九日の高木神社の祭礼に奉納されました。昔、悪疫が流行したとき、その退散を祈願して踊られたのが始まりと伝えられています。獅子舞の行列は、高木神社隣、昔の明楽寺跡の社務所で支度をととのえ、村役の先導にて練り歩き、神社前庭に進んだのです。杉の太木の繁る境内で、笛の音や、歌に合わせ演ずる獅子舞は勇壮なものでした。

(東大和よもやまばなしより)



高木の獅子舞

会員寄稿

狭山B班 栗原 勝男
ラジオ体操はすごい

平成25年3月、50年近くのサラリーマン生活を終え、毎朝の散歩を続けていました。ある時上仲原公園でラジオ体操を見かけて、遠くから参加していました。大晦日の体操終了後の年納め、酒の匂いに近づき先ず一杯、正月2日の初めの会、そこで「東大和市ラジオ体操連盟あけぼのラジオ体操会」の会員になりました。そしてラジオ体操の奥の深さを知り、積極的にやりだし、その年に指導員、二級指導士、猛勉強の末、3年後に一級指導士に合格しました。現在は毎朝皆様の前で体操をやっております。会員は幼稚園児から92歳まで、正会員の平均年齢は78歳です。

体操が収録されました。「東大和市ラジオ体操」と検索し是非ご覧になってください。歳を重ねるに従って、覚える機能や運動機能が衰えてきます。機能を維持するためには次は何、どこを動かすのか、と考えながら運動することが大切です。ラジオ体操は、体のあらゆる機能を整え発揮できるよう、内と外、右と左がバランスよく構成されています。効用は、①柔軟性の向上、②血液循環の改善、③バランス感覚の向上、④代謝（生命維持に必要な物質の入れ替え）の促進、⑤良い姿勢づくりです。基本に近づいた動きにより効果は増しますが、無理をしないで継続してやることです。ラジオ体操は昭和26、27年に第一、第二が作られ、現在まで一度の変更もない完成された体操です。人生百歳、最期まで自分で歩ける健康寿命を延ばしましょう。最後にワンポイントレッスン、肘は真っ直ぐに伸ばし肩を大きく動かして、リズムに合わせて楽しくやってください。上仲原公園では、元日を除き雨でも毎朝やっています。朝の清々しい空気を胸いっぱい吸って免疫力を高めましょう。



東大和市ラジオ体操連盟



平成29年8月24日
夏休み子供ラジオ体操会閉会式

市内のモニコメント訪問

藤兵衛さんと狼

場所…中北台公園
設置日…平成5年3月27日
今は多摩湖になってしまった石川の谷に、昔、藤兵衛さんという腕の良い木こりの親方が住んでいました。

ある朝、いつものように仕事場へいこうと笠松坂（狭山丘陵の中にあつた）を登っていくと、大きな口をあいて苦しんでいる狼が見えました。口に手を入れて、骨を取ってやると頭をひとつさげ森の中へ行ったそうです。それからというものの、狼は藤兵衛さんを朝晩送り迎えするようになりました。

藤兵衛さんは、狼が御嶽神社のお使いで大口真神（おおぐちまがみ）といわれていたので、自分を守ってくれた狼のためにお宮を造り、朝晩拝んだそうです。



藤兵衛さんと狼
(東大和よもやまばなし より)

会員寄稿

芋窪A班 三田 達巳
日米開戦から八〇年

来る令和三年十二月八日は、真珠湾攻撃が始まった日米開戦から八〇年の節目の日を迎えることになるが、その前日に生まれた自分も八〇歳になる。

誕生日を迎える度に想い出されるのは戦時中の出来事である。空襲警報のサイレンが鳴ると防弾頭巾を被され、近くにあった防空壕へ祖母に背負われて逃げたこと。夜になると米軍が投下する照明弾によって辺りが昼間のようになり、これに驚いて泣き止まなかったこと。

更に米軍の爆撃機が飛来するたびに、爆弾が投下されるのではないかとヒヤヒヤしていたこと。

また、貯水池（多摩湖）の山中に落とされた爆弾の破片を拾いに行き、クス屋に行つて小遣いにしたこと等々。

戦後になると、戦車を先頭に四列渋滞で行進してくるアメリカ兵に「ハイ・ハイ」と声をかけ、チューインガムやチョコレートをおねだり、いつも友達より多く貰うこ

ことができた。それには自分なりのノウハウがあった。

話は変わるが、社用でアメリカに出張した時、乗り継ぎのシカゴの空港でバックを置き引きされてしまい警察に届け出た。

その時、私のパスポートを見た警察官が突然「パールハーバー・・・」と言つて話しかけてきた。

「お前は真珠湾が攻撃されたときに生まれたのか」と、怒りとも思えるような口調であった。

終戦から長い年月が経っているが、アメリカ人にとっては忘れられない出来事だったのであるうと思つた。



昭和十六年十二月七日 開戦前日の新聞

会員の作品紹介

松堂政勝会員の糸鋸木工作品

桜が丘C班 松堂 政勝

一年前に始めた糸鋸木工です。季節物や思いついたものを作っています。



季節物



あぎょう うんぎょう
阿形／吽形



浅間山

私のふるさと（八丁堀）

上北台B班 遠藤 孝

東京の下町「八丁堀」
私の故郷は東京都中央区八丁堀です、八丁堀と聞くと皆様何を思い出しますか？

江戸時代の同心の住んでいた町を思い出す人が多いと思います。現在の東京駅八重洲口より八重洲通り徒歩12〜13分首都高速を渡つてすぐのところですよ。

終戦2〜3年ごろは自宅の2階より東京駅の電車が見えていたそうです。私の少年時代には、隅田川によく釣りに行っていました。当時隅田川にはまだ橋が少なく、明石町と佃島を結ぶ「佃の渡し」（江戸時代初期より昭和38年の佃大橋の完成まで300年余り続く）がありました。佃島に通う人が多くおり、自転車と一緒に利用していました。

昭和36年の佃大橋の完成によりその役目を終えました。また下流には勝鬨橋があります。橋の上流には石川島播磨重工業の造船所があり、そこでできた船の通行のため、可動橋として設計され、中央部が70度に跳ね上がる構造になっ



隅田川に架かる勝鬨橋とビル群

ています。昭和40年に完成し、当時は1日5回、1回20分ほど跳開し、3千トン級の船が航行したそうです。現在では当時の名残りとして橋の中央部と歩道側の2ヶ所に信号機が残されております。また隅田川にはもう一つの名物があります。それは花火です。その起源は江戸時代、8代將軍吉宗の時代に將軍の発案で始めたと言われております。現在では毎年7月に開催され、2万発の花火が東京の夜空に大輪の花を咲かせ、東京の人々を楽しませております。私の地元八丁堀は山王日枝神社の氏子であり、お祭りには御旅所

のある茅場町に神輿が集まり、そこから各町内に繰り出します。私の自宅前には休憩場所があり、神輿や山車が来るたびに御神酒や子供にはジュースやお菓子などで接待していました。八丁堀のメインストリートの鈴らん道りにはたくさんのお店が出ており、夜になるとスズランの形をした街灯に明かりが灯り、各店のお兄さんお姉さんの威勢のいい掛け声が響き渡り、いやが上にもお祭り気分が盛り上がります。バナナのたたき売り、金魚すくい、ウナギのつかみ取り、雷魚釣り、綿あめ、お面、など雑多なお店が競い合っておりました。

また盆踊りの季節には、スズラン通りの四つ角にやぐらを組み、太鼓を鳴らして景気をつけます。夜になると夜店が出て近所のおかみさんたちが揃い、浴衣に身を包み、やぐらの上下で踊りを披露していました。

現在、楓川は首都高速道路に、住宅はオフィスに変わってしまいました。お祭りの神輿も他所の人手を借りなければ出せなくなってしまうそうです。下町の良き風情が全く無くなってしまうて寂しい限りです。

市内のモニメント訪問

用水工夫

・場所・野火止用水入口付近
・設置日・平成5年1月27日
野火止用水は承応四年（1655年）、徳川幕府の老中松平伊豆守信綱によってつくられ、小川村の分岐点（現在の小平市中島町）から新河岸川まで六里（約24キロメートル）を四十日間掘り通したといわれる用水路です。この用水のおかげで、用水周辺の田、畑がうるおい、米の取れ高は十倍にもなったそうです。また、美術工芸品の設置されたこの場所の町名は新堀といいますが、この掘りができたときに付けられたといわれる新堀という小字名を採用したものです。
（東大和よもやまばなしより）



用水工夫

「会員紹介制度」のご案内

お知り合いの方をご紹介ください!!

この制度は、既存の会員の方から、未入会で市内にお住いのお知り合いの方に、シルバー人材センターへの入会を勧めていただき、会員の増強を図るものです。

「紹介をしていただいた会員の方」及び「入会される方」には、どちらにも粗品をプレゼントいたします。

ぜひ、この機会にお知り合いの方をご紹介ください。

【 会員紹介制度の流れについて 】

- ① 既存会員の方は、下記の入会条件にあてはまる、入会を希望する未入会のお知り合いの方に、シルバー人材センターについて、わかる範囲でご説明ください。
※入会条件は東大和市にお住いの、60歳以上の健康で働く意欲のある方です。
- ② 入会を希望される方は、シルバー人材センター事務局へ、入会説明会への参加申し込み（予約制）を行ってください。入会説明会の日程は事務局までお問合せください。お申し込みは、お電話または窓口までお願い致します。電話 042-565-0531
※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定されている入会説明会が中止となる場合があります。
- ③ 事前予約された日の入会説明会にご出席ください。説明をお聞きになり、シルバー人材センターへの入会を希望される場合は、下記の会員紹介カードに必要事項をご記入の上、入会申し込み受付時の担当者へお渡してください。

※会員紹介カードは、下記の用紙を点線より切り取りお使いいただくか、センター窓口に用意してある同様の用紙にご記入の上、ご提出ください。

-----切り取り線-----

(公社) 東大和市シルバー人材センター

提出日 令和 年 月 日				会 員 紹 介 カ ー ド	
入会される方		住 所 :			
		氏 名 :			
紹介をしていただいた既存会員の方		電話番号 :			
		氏 名 :			

[ご注意] 紹介会員名が記入されていないものは無効です。

センターの今後の予定				※今後、新型コロナウイルス感染症拡大の状況により予定を変更する場合があります。
月	日	曜日	時間	内容
10	13	水	9:00	入会説明会
	18	月		配分金振込日
	19	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	20	水	9:00	入会申込日
	28	木	9:00	定例理事会
	29	金	9:00	新入会員研修会
11	10	水	9:00	入会説明会
	16	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	17	水		配分金振込日
	17	水	9:00	入会申込日
	25	木	9:00	定例理事会
	26	金	9:00	新入会員研修会
12	8	水	9:00	入会説明会
	15	水	9:00	入会申込日
	17	金		配分金振込日
	21	火	予約制	就業相談日（下の表を参照ください）
	23	木	9:00	定例理事会
	24	金	9:00	新入会員研修会

入会説明会に参加を希望される方は、前日までにシルバー人材センターまでご連絡ください。電話042-565-0531



就業相談日		相談時間帯
2021年10月19日(火)	2022年 1月18日(火)	①14:00 ②14:30 ③15:00 ④15:30 ⑤16:00 各時間1名
11月16日(火)	2月15日(火)	
12月21日(火)	3月15日(火)	

●申し込み期限は、各月第2火曜日までです。電話042-565-0531

●申し込み
電話またはセンター窓口で、事前予約を
してください。

●就業相談を
実施しています。

編集後記

新型コロナウイルス感染防止の切り札として、高齢者を中心にワクチン接種が急速に行われていきます。緊急事態宣言が発出・延長される中で、年明けからセンターの各種行事や委員会が昨年度に引き続き中止になりました。その間広報委員会も十分な取材活動が出来ない中で編集作業を続けてきた結果、限られた記事ですが何とか発行することが出来ました。会員の皆様に楽しんで読んでいただけたら幸いです。

会員の作品・投稿募集

会員の皆様の投稿を募集しております。

作品（写真・絵画・彫刻・書・手芸など）紀行文・川柳「私のふるさと」投稿等、何でも結構です。

投稿は必要に応じて写真を添付いただき、郵送、持参のどちらでも結構です。掲載させていただいた投稿には、お礼を差し上げます。会員の皆様の投稿をお待ちしております。